

第3章 地区別まちづくりプラン

この「地区別まちづくりプラン」は、基本計画の関係部分を地区別に整理し、地区ごとの重点的な取り組みを明らかにするものです。

野沢地区

地区の概要

町の南西部に位置し、国道49号や磐越自動車道が東西をつなぎ、JR野沢駅や町民バス・高速バスの発着点があり、商店街や役場、公民館が所在するなど、町の中心地です。

かつての野沢は、越後街道沿いの宿場町で人と物が行きかう交通の要衝であったことから、まち並みは今もその面影を残しています。

9月には野沢町内で諏方・熊野神社の祭礼が行われ、五穀豊穡・商売繁盛を願い、山車や神輿が威勢よくまちを練り歩きます。

大山祇神社や鳥追観音、安座のおとめゆり群生地、道の駅やふるさと自慢館などの観光スポットがあります。

主な地域資源

大山祇神社・鳥追観音・雷山公園などの観光スポット、
旧越後街道の宿場町のまち並み、ふるさと自慢館、味噌ラーメン、
研幾堂と幕末から明治初期に活躍した門人たち、
道の駅にしあいづ（飲食店、農林産物、加工品、張り子、車麩 など）、
磐越道西会津インターチェンジ、町民バス発着点、
JR野沢駅など交通の基点、安座の地形とおとめゆり群生地 など



野沢地区の将来デザイン

町の中心地としての機能の整備と歴史文化の活用により町内外から人が集まり、活動する地域

野沢地区でのまちづくりの方向性

公共施設の集約や歩いて暮らせるまちづくり、商店街の活性化や観光誘客など、総合的な視点から、野沢まちなかの将来像の検討を行い、特に旧役場庁舎跡地をはじめ区域内施設の利活用について、「官民連携による施設利活用（機能強化）の検討」、「まちづくりの構想（具現化）の検討」、「まちづくりデザイン会議と連携した人材の育成」を柱として、幅広い視点での地域資産の再生・利活用検討と官民連携による持続可能な運営体制づくりに取り組んでいきます。

大山祇神社や鳥追観音、雷山公園周辺、安座のおとめゆり群生地、旧越後街道などの既存観光資源を新たな視点を取り入れながら、その魅力を高めるとともに、道の駅を拠点に町の魅力発信を強化し、町全体への周遊を促進します。

空き家や空き店舗を活用した起業や事業承継の支援、住環境の整備等を進め、移住や定住を促進し、まちなかのにぎわいを創出します。

計画期間中実施予定の主な事業等

- 野沢まちなかの再生（プロジェクトX）
- 移住定住環境の整備（プロジェクトX）
- 担い手の確保と育成（プロジェクトX）
- 有害鳥獣対策の推進（プロジェクトX）
- 「日本の田舎、西会津町。」ブランド力強化（プロジェクトX）
- 継業・事業承継支援事業（2-2 商工業）
- 越後街道を活かした周遊促進事業（2-3 観光・交流）
- 町内飲食店や商店等を活用したイベントの開催（2-3 観光・交流）
- テレワークセンター・コワーキングスペースの有効活用（4-3 情報通信）

尾野本地区

地区の概要

町の南東部に位置し、会津坂下町や柳津町と接しています。

平坦部には、西会津中学校や西会津小学校、こゆりこども園が整備されるなど教育・子育ての拠点となっています。また、住宅団地や町営住宅・定住促進住宅などの居住エリア、複数の企業が立地する工業団地、さゆり公園周辺のスポーツ・レクリエーションエリア、診療所や介護関係施設が整備された医療・福祉エリアがあります。農地も広く、稲作や野菜栽培、菌床キノコ栽培も盛んです。

一方、山間部の睦合地区や下谷地区は、集落が点在し、それぞれの地域で独自の地域づくりの活動がみられるなど、尾野本地区は多様な面を持ったエリアと言えます。

主な地域資源

教育・子育て施設（こども園、小・中学校、町民図書館、子育て支援センター）、住宅団地・町営住宅・定住促進住宅、工業団地、さゆり公園及び周辺施設、出ヶ原和紙、出ヶ原円満寺観音堂、菌床キノコ栽培、天空の郷、鉱山跡、ヤマユリ群生地、木地夜鷹山・百戸沼、旧尾野本小講堂 など



尾野本地区の将来デザイン

教育施設やスポーツ施設、福祉施設が充実し、全ての世代が住みやすく、また、農業や工業の中心となる地域

尾野本地区でのまちづくりの方向性

子育て環境と居住エリアの整備を進めてきましたが、さらに子育て世代が快適に安心して子育てができる地域での見守り、支援体制、生活環境づくりを進めます。

さゆり公園及び周辺施設の機能を有効に活用し、交流人口の拡大を図ります。

国道49号以南の山間エリアにおいて、豊かな自然や景観を生かした地域おこし活動を支援します。

計画期間中実施予定の主な事業等

- 担い手の確保と育成（プロジェクトX）
- 有害鳥獣対策の推進（プロジェクトX）
- 移住定住環境の整備（プロジェクトX）
- 「日本の田舎、西会津町。」ブランド力強化（プロジェクトX）
- さゆり公園施設の計画的な維持修繕（1-4 スポーツ、4-5 自然・環境保全）
- 集落型ライスセンター整備事業（2-1 農林業）
- 越後街道を活かした周遊促進事業（2-3 観光・交流）
- さゆり公園周辺施設整備事業（2-3 観光・交流）
- 町営住宅、定住促進住宅の計画的な修繕（2-4 移住・定住）
- 診療施設整備事業（修繕を含む）（3-2 医療）
- 雪室貯蔵施設の活用（4-1 雪対策）

群岡地区

地区の概要

町の中央西部に位置し、西側は新潟県阿賀町と接しています。地区の北側を阿賀川が流れ、並行してJR磐越西線が走ります。地区の中央部は国道49号が通り、会津の西の玄関口とも言えます。旧越後街道沿いであり、上野尻・下野尻地区や白坂・宝川地区は宿場町の名残を残します。

上野尻地区周辺には製造業系企業の立地がみられ、若者などの雇用を担っています。

近年、上野尻地区には空き家などを活用して移住する人が増えており、新たな地域づくりの息吹が感じられます。

鬼光頭川沿いに点在する屋敷地区の集落には、屋敷人形芝居や屋敷萬歳などの民俗芸能やつる細工などの独自の文化が根づいています。

主な地域資源

国道49号、 JR上野尻駅・徳沢駅、 旧越後街道の宿場町のまち並み、
銚子ノ口や上野尻発電所の桜などの景勝地、 須刈岳、
SLの撮影スポット、 屋敷萬歳・屋敷人形芝居、
男滝・女滝、 お試し移住住宅「O t a m e」 など



群岡地区の将来デザイン

お試し移住住宅「O t a m e」を拠点として、「西会津暮らし」を始める移住者が気軽に入り込める魅力ある地域

群岡地区でのまちづくりの方向性

銚子ノロやS Lの撮影スポットなどの景勝地の保全と魅力発信に努めます。

地域に受け継がれる屋敷人形芝居などの保存伝承に努めます。

お試し移住住宅「O t a m e」を活用しワークインレジデンス事業（滞在型地域課題解決継業・起業プログラム）に取り組み、移住・定住のモデル地区化と、移住者とともに、住民が楽しめる地域づくりを目指します。

計画期間中実施予定の主な事業等

- 担い手の確保と育成（プロジェクトX）
- 有害鳥獣対策の推進（プロジェクトX）
- 移住定住環境の整備（プロジェクトX）
- 「日本の田舎、西会津町。」ブランド力強化（プロジェクトX）
- 民俗芸能保存団体支援制度の創設（1-5 歴史・文化・芸術）
- 越後街道を活かした周遊促進事業（2-3 観光・交流）
- お試し移住住宅「O t a m e」の利用促進（2-4 移住・定住）
- 防火水槽整備事業、小型動力ポンプ整備事業（4-4 消防防災・安全対策）

新郷地区

地区の概要

町の中央東部に位置し、東側を喜多方市高郷町と接しています。南側を阿賀川が流れ、対岸に南側から西側に向かって尾野本地区、野沢地区、群岡地区が位置しています。

西会津町縦貫道路整備によって新郷地区や奥川地区へ向かうには改良された町道野沢柴崎線を経由するルートが主流となっています。

他の地区に比べて山地は険しくありませんが、阿賀川沿いの三河地区、豊洲地区から比較的標高の高い富士地区まで、中山間地に集落が点在しています。

喜多方市高郷町との境界部に日本で2番目に高い「富士山」があり、山開きやスノートレッキングなどが開催されるほか、橋屋地区では「橋屋新そばまつり」が開催されるなど、地域主体の取り組みが盛んになっています。

旧新郷中学校の木造校舎を活用した西会津国際芸術村は、様々な分野の芸術家や町外者が訪れ、交流の拠点となっています。また、移住希望者や来町者の相談、マッチングにも取り組んでいます。

主な地域資源

富士山（山開き、スノートレッキング など）、 新郷六観音、
橋屋新そばまつり・そばの花ウォーキング、 菜の花まつり、
西会津国際芸術村、 荒木からの眺望 など



新郷地区の将来デザイン

豊かな自然と芸術の里として情報を発信し、都市住民やアーティストが訪れ、多様な交流が行われる地域

新郷地区でのまちづくりの方向性

富士山や橋屋の新そばまつり・そばの花ウォーキングなどの地域資源を活用した地域主体の取り組みを支援します。

国際芸術村を拠点とし、アートと町の歴史文化や産業を融合した新たな価値を創造することによって町の魅力を高め、交流人口・関係人口の拡大を目指し、移住・定住につなげていきます。

計画期間中実施予定の主な事業等

- 担い手の確保と育成（プロジェクトX）
- 有害鳥獣対策の推進（プロジェクトX）
- 移住定住環境の整備（プロジェクトX）
- 「日本の田舎、西会津町。」ブランド力強化（プロジェクトX）
- 西会津国際芸術村との連携（1-2 教育環境）
- コンサートや展覧会などの開催（1-5 歴史・文化・芸術）
- 西会津国際芸術村事業（1-5 歴史・文化・芸術、2-3 観光・交流）
- 地域おこし団体や民間による交流活動の支援（2-3 観光・交流）
- 集落支援員配置事業（3-5 コミュニティ）
- 外部団体やボランティア、大学生などの受入れ体制づくり（3-5 コミュニティ）

奥川地区

地区の概要

町の北部に位置し、東側を喜多方市山都町と、西側を新潟県阿賀町と接しています。阿賀川の支流である奥川流域に集落が点在し、さらに北側は 1,000m 級の山々が連なり飯豊山系へ続いています。

町中心部からは西会津町縦貫道路が整備され、最北の弥平四郎まで町道・県道が縦断しています。また、新潟県側と喜多方市山都町側を国道 459 号が結び、地区内を横断しています。

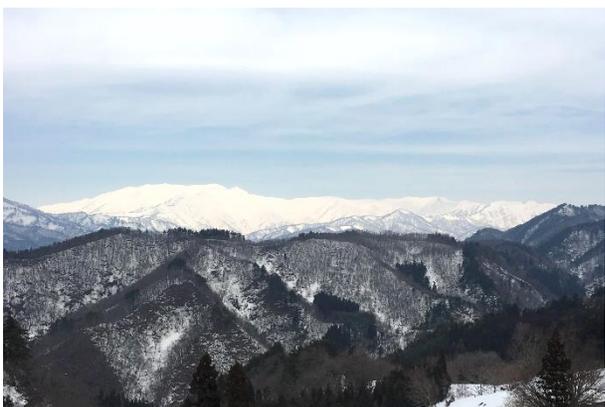
飯豊山の弥平四郎登山口があるほか、近年は鏡山や高陽山で山開きのイベントが開催されるなど、多くの登山者が訪れます。また、奥川はイワナやヤマメなどの渓流釣りの本場でシーズンには多くの釣り客が訪れます。

地域資源を活用した集落活性化の取り組みも複数の集落で行われています。農村体験の受入れや農林産物の加工開発、農家民宿など、地域住民による地域活性化の取り組みも盛んです。

地域全体で 60% を超える高齢化率で、50 歳未満の人数が 30 人以下となっており、地域の存続について、住民・行政ともに向き合っていかなければならない局面にあります。

主な地域資源

飯豊山・鏡山・高陽山などの山々、 奥川の渓流釣り、
農林産物加工や農村体験活動の受入れ、 奥川七観音、
小屋カタクリ鑑賞会、 極入大聖歓喜天祭礼、 出戸岩屋虚空蔵尊祭礼 など



奥川地区の将来デザイン

高齢者が地域でいきいきと暮らし、豊かな自然と集落文化を生かして都市住民との交流が活発に行われている地域

奥川地区でのまちづくりの方向性

集落機能の維持が困難な集落への支援や地域資源を活用した集落活性化の支援を進めます。

周辺の山々や奥川などの自然資源を生かし、都市住民などとの交流や体験活動受入れなど、地域主体の取り組みを支援します。

住民主体による地域づくりを進め、既存の組織や体制を見直し、奥川の存続のために宿泊滞在型の関係人口の増加を図り、地域内外の人が協働で地域を存続させていく仕組みや生業を創造していきます。

また、少ない人口でも地域を維持するため、テクノロジーを積極的に活用し、新たな地域経営モデルづくりに取り組みます。

計画期間中実施予定の主な事業等

- 担い手の確保と育成（プロジェクトX）
- 有害鳥獣対策の推進（プロジェクトX）
- 移住定住環境の整備（プロジェクトX）
- 「日本の田舎、西会津町。」ブランド力強化（プロジェクトX）
- 飯豊山・鏡山周辺環境整備事業（2-3 観光・交流）
- 地域おこし団体や民間による交流活動の支援（2-3 観光・交流）
- 集落支援員配置事業（3-5 コミュニティ）
- 集落機能維持のため集落支援拠点施設〔結〕を活用した支援（3-5 コミュニティ）
- 外部団体やボランティア、大学生などの受入れ体制づくり（3-5 コミュニティ）